

## 報告会：基調講演・パネルディスカッションに関する アンケートコメント

### 基調講演へのコメント

- ・不登校は生存戦略：層によって支援・アプローチが異なる。対象である子どもたちへの理解をどう深め、どう支えていくか、考えさせられるきっかけとなった。
- ・訪問看護の考え方を知ることができた。
- ・「地域包括支援センターを子どもにも・・・」とお言葉は、全く同意見で、うれしく思いました。
- ・わかりやすかったです。
- ・基幹相談支援センター（相談支援専門員）との関わりはまだまだですね、頑張ります。
- ・うまくいといいなと思います。”
- ・連携先としては、障がい分野もあると良いかなと感じて（機関センター等）”
- ・不登校に対する関わり、理解を深めるための情報を得る事ができた。声が少し聞きとりづらかった。
- ・不登校支援へのアプローチ方法や理念を理解できた。
- ・解決に向けて、つながり続けていくことは、対象者が多くなると、とても難しいと思いました。
- ・支援の構造がよく知れて良かった
- ・広い視点で物事を考えるこをができた。
- ・保護者への働きかけも大切である点に気づきました
- ・不登校は、構造という点、理解できました。
- ・分かりやすかった
- ・ひきこもりの問題に興味があったから
- ・とっても分かりやすく、理解することができました。今、自分にできることと、振り返ることができました。ありがとうございます。
- ・不登校になった原因は、個人要因だけではなく、多層の相互作用として理解することが大切と認識できました所。訪看として、まず、当事者ではなく、家族！！をアセスメントしてという考えに気づけた。
- ・科学的な内容が聞けて良かった
- ・スライドが具体的でわかりやすかったです。全体像の把握ができました
- ・包括的支援や包括支援センターの活用について勉強になりました
- ・不登校支援の目的を明確におっしゃっていただいた点は非常にありがたいと思いました。ひきこもりについての意見もいただきかったです（概ね不登校と同様でしょうか）
- ・COCOLOプラン・BPSモデルなど、不登校支援に対する情報を得ることができた。
- ・以前発達段階について、先生の話聞いた者です。今回のテーマにそって、

本当にわかりやすく説明いただけたことに感謝です。ぜひ、大人になってしまった方への支援について講話として聴きたいです。

- ・BPS モデル、身体内部のアセスメントの重要性など改めて気づきがありました。

- ・不登校児は、生存戦略の手段として不登校を選らんでいるという点が印象に残った

- ・知らなかったことを知ることができた

- ・日頃、見聞き覚えのない用語を知り得ることが出来たこと

- ・問題へのアプローチの方法を学ぶ事ができた。

- ・エコロジーモデル、BPS モデルなど、理論的な事が学べ、思考の整理に役立てそうです。

- ・不登校ひきり支援における現状を踏まえた今後のあり方について、大変わかりやすく伝えていただけたことに感謝しております。

- ・不登校を深く学べた

- ・不登校の理由を構造的にとらえた説明がわかりやすかった。包括的支援の大切さを学べた。

- ・対象を捉え、支援につなげるための視点がわかりやすかった

- ・多層構想（BPS）の説明が今後の他者との介入で活用できると思ったからわかりやすかったです

- ・手元に資料がほしい。内容を追うことに大変、時間不足でしたね。講演内容は大変参考になったが記録しきれなかった。声の音量が全体として小さい。

- ・「不登校・ひきこもり支援」を、多層構造で分やすく講義いただけた。本人だけではない家族や社会の関係について理解が深まった。

- ・分析を重ね、現場の意見を取り入れた素晴らしい会だったと思います

- ・資料があるとよかった。

- ・学術的な知識になかなかきく機会がないので、とても貴重なお話でした。

- ・エビデンスに基づいた内容で分かり易かった

- ・最新の支援にふれることができた

- ・新しい視点を知ることができた

- ・訪問看護として不登校に関わる際のポイントについて学ぶことができてよかったです。

## パネルディスカッションへのコメント

- ・いろんな支援がある事がわかった。学校にも行かず、フリースクールにも行かず、閉ざされている気分だが、いろいろと頼ってみようと思った。

子どもをとりまく環境を、子どもをしっかりと理解した上で整えていくことの大切さを学べた

- ・もうすこし気軽に質問ができる雰囲気づくりをしてほしい。

- ・それぞれの立場での活動を知れてよかった。宮崎小学校の取り組みを知れてよかった。

・様々な立場の話を聞いてよかったです。不登校支援に特化したアウトリーチ訪問として事業を実施するためには、教育部門が主導して予算確保事業の仕組み作りをすべきだと思いました。福祉・保健との連携はもちろん必要だと思いますが、不登校の問題は「待ったなし」なので、こども対策・教育部門が中心となってやるべきだと思います。

・チーム担任性も（スクールアシスタント）。地域連携。遊びの中で対話をつくる

・貴重な意見が聞けました。

・ハネラーの方の様々にとりくみがわかりました

・学校現場の本音を発言している。ありがたかった。

・色々な方面の方からの意見がきけてよかった

・宮小の先生の話が、具体的で声もききとりやすく、良かったです。

・学校だけでなく、医療・福祉他の連携が必要になってくること。今からの分野なのだ知りました。早急に拡充していく必要があると思いました。

・現状では把握できない、学校以外でも、学ぶところがある。訪看として両側面からのアプローチ→アセスメントの重要性。

・多様な立場の支援をきくことができた

・それぞれ異なる立場からのお話を開けたことがよかった。

・社会全体でとり組んでいく内容がとてもよかったです。多様性で答えは一つではありませんが、それぞれが課題と取り組んで、子供をサポートしていきたいと思いました。地域のつながりを大切にしていきたいと思います。

・各団体の取り組みや考えを開くことができた

・民生委員の方やお子さんの支援団体の熱心な取り組みや、学校の工夫と限界など、現状の様々な点から学ぶことができました

・パネラーの方々の意見を聞いて思いました。変えるべきは地域だと！救うべきは親だと！「子どもの安心」を守るために、頑張ります。

・宮崎市で取り組まれていることや、それぞれの立場にそっての意見や考え方を聞いて勉強になりました。

・関係者の方々から詳しく現状が聞いて学びになりました。

・それぞれの専門がどのような活動をしているのか、つながりの必要性がわかりました。

・不登校支援には、様々な視点が必要なことを改めて気付かされた。

・もう少し時間をとってよかったですのでは？

・「パネルディスカッション」で、それぞれの代表の方々の意見を聞いて、知り得た。

・参加して、有意義でした。”

・学校の取りくみがよく分り、また他の職種の関わりの問題点を知る事ができた。

・質問させて頂きました。ありがとうございました。

・様々な専門、立場の方の考えにふれることができて良かった。

- ・不登校の親の会も紹介があると良かった。
- ・それぞれのお立場から具体的な実践をもとに、どんな支援ができるのかを伝えていただき多くの学びがあったため、とても満足しています。
- ・行政の部分も学べた
- ・いろいろな立場からの取り組み、意見がきけた
- ・多職種の方々がパネラーとなって、それぞれの専門的立場からの意見がきけた
- ・各方面の立場の回答があり、多角的な意見がきけた
- ・活発な意見が聞けた
- ・宮小校長のお話し、素直な意見に感動。家庭支援を学校に求めることはムリですね。児相はどうしているのかな？
- ・様々なパネラーからの目線での関わりと、今後の課題が示された貴重な時間だった。
- ・事後対応からも広いフェーズを変えていく必要性を感じた
- ・多様な分野のリアルな意見が聞けた
- ・色々意見交換できてよかった
- ・いろいろ取り組んでいる方たちの集まりで、話をきいていると、とても勉強になりました。いいなーいいなーと思うことばかりでした。しかし、学校・教育委員会に相談してもたらい回しされ何も知らずに半年過ごしている、生徒家族がいます。質問したくても、その時間がなかったため、明日からもこの生活が続くんだ~と思い、自分で動くしかないと思いを改めました。
- ・多方面からの意見、なかなかない機会で見ることができました
- ・宮崎小学校校長先生のとりにくみず、ずらしいです。
- ・それぞれの立場の状況を知れて良かった。
- ・行政などの様な機関と直接話し合いができる機会はなかなかないため、それぞれの取り組みや考えを知れる、とても貴重な時間になりました。
- ・支援する側の人達もわからない事が多く、勉強されたり学んでいることがわかった。
- ・知らなかった支援の場について知ることができた。
- ・宿題をなくすとりにくみや、フリースクールが困っていることなど、とてもおもしろい話をきくことができました。働く親、困窮世帯はフリースクールに通う手段や費用がストレスにもなります。行政ー福祉ー教育

## イベント全体に対するコメント

- ・不登校児童がいる家庭は孤立しがちだと思います。
- 訪看のを知っていただき、保護者・子どもに寄り添える人を増やすことはとても大事だと考えています。
- ・上昇傾向にある引きこもり、不登校である子どもに対して、看護者を目指す者として、一人の人間として、何を知っておくべきか、どのような支援ができるか、見つめなおすきっかけとなった。今後の支援に活用していきたい。

- ・医療の立場の方のパネラーがいてくれたら完璧だったと思う。
- ・我が子も不登校となっております。今日、いろいろなお話を聞かせていただき、うまく言えませんが、いろいろな想いがこみあげてきました。とりあえず、今できることをしていこうと思います。今日は、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・初めての場所で、駐車場があるかの心配をしましたが、大丈夫でした。ひきこもりは大人でもいらっしゃると思います。社会とつながっていけるよう私達も支援の質をあげたいと思いました。マイクがクリアではないと感じたので、そこをクリアにしていただけると。
- ・社会福祉士として、日頃からひきこもりや不登校の支援に携わっています。関係機関との関わりによりチームで支援するように心掛けています。訪看さんだけで悩まず、様々な機関との関わりによるケースも知りたいです。
- ・事例報告（もうすこし専門的な内容を知りたい。訪看が入ったことによるメリット、デメリットを知りたい）
- ・各訪問看護ステーションの取り組み、活動報告が知れてよかった
- ・不登校にどう関わるかについて、スキルやテクニックではなく、在り方や心積もりの部分の大切さをより感じた、
- ・貴重な学びの場を与えて下さり感謝します。不登校が生まれにくい社会を設計するという考え方にふれられてよかったです。
- ・私の家庭内で経験した事で、次男（中1～中3まで）がいじめをきっかけに不登校になりました。学校・同級生・地域・行政との連携も乏しく、私達家族、特に、母親・次男は、孤立し、不安と悲しみ、命を守ることを優先した生活でした。地域でも居場所作りの情報あるものの、外に出れば、接触できない、人への恐怖、勉強の遅れ、何もかもが暗闇でしたが、訪問型伴走支援を初めて知りましたが、もっともっと支援の輪が広がっていくこと、私自身、地域でサポートして行きたいと考えました
- ・不登校については社会全体でとりくむ問題であると感じました
- ・多様性の中心の細やかな連携がますます必要ですね。良くわかりました。
- ・訪看として、登校支援、関係性の構築（お姉ちゃん的に存在）の関わりであった。
- ・不登校は子供要因だけではない包括的な支援、生活視点、医療的視線→アセスメントが重要だということを知りました。支援アプローチ方法
- ・講演の資料が欲しかった
- ・スライド資料を後日で構いませんので配布していただきたいです。
- ・大変勉強になりました。
- ・本事業について、また訪問看護の意識について深く学ぶことができました
- ・義務教育終了後のサポートについても、さらにお話をいただければよかったと思います。
- ・すごくわかりやすい内容だったと思います。このようなイベントを増やしてほしいです。

- ・不登校の問題は、社会の問題なので、もっと多くの人に知ってもらい。地域での見守りができればと思った。子にとって母親は大切な存在と思うが、不登校の親である母親が安心できる場も必要と感じた。
- ・ひきこもり支援はそれぞれの連携体制が必要だということで、PDCAサイクルの強化、作成の必要性がより理解できました。みなさんが活動を頑張られている中で、どの段階でどのように介入していけるか、滞ることなくつなげて頂きたいです。
- ・不登校の問題をつきつめていくと、社会の問題、学校の問題、家族の問題、様々な要因が重なっていること、その先にまだ自分自身でその困難さを克服する力を身に付けていない「子ども」という立場である存在にそのひずみがのしかかっていることを学びました。私たち大人がそれぞれの分野で知識や技術を合わせ解決していけたらいいと思いました。
- ・基調講演の資料を頂きました。
- ・義務教育を終えた子供さんの引き続きの支援はどうなっていくのか？  
せつかく、つながったものが、切れ目ない支援につながると良いのではないかなと思う。
- ・すごく勉強になりました。
- ・社会・地域との連携をとりながら、行う事の大事さも学びました。
- ・とても学びになりました。やはり様々な連携が必要であると感じました。
- ・支援する側・される側の構造を強く感じる内容でしたが、多くの視点を知ることができたのは良かったです。支援者や家族の力も発動できる機会があると良いですね。
- ・子どもを真ん中においた素晴らしい企画をありがとうございました。参加させていただいて良かったです。
- ・宮崎小の取り組みが素晴らしいと思った。学校が変わっていけば、不登校はへっていきと感じた。
- ・「不登校」について深く考える貴重な機会となりました。本当にありがとうございました。包括的に支援していける仕組み作りの実現を目指して何かできればと思いました。
- ・満足のいくイベントだったが、タイムスケジュールを守ってもらいたい
- ・不登校を社会全体で支えることの大切さがわかった。家庭や担任に負担がかかっていた現状を考えていく必要性を感じた。
- ・あらためてこの課題に注目させていただきました。
- ・子どもを支えるのは、親や学校だけではない。社会全体であることに世間が考えていくことだと改めて思った。
- ・子どもだけでなく、大人で引きこもっている方にもあてはまる話があり、有意義だった。
- ・事例報告では、質問の時間が欲しかった。発表者も、ここまでの発表内容があるのだから、発表だけでは伝えられないものもあるのでは？と思いました。
- ・今日の訪問看護は医療をとおしていなかったということで、？がとけまし

た。素晴らしい取り組みだと思います。スクールアシスタント、ssh、保育所等訪問支援・訪問看護にているが違うのですが、すべてを含めて、動ける役割ができると、よいと思います。

- ・もう少しは時間が欲しかったです。

- ・他訪問看護ステーションの取り組みを知ることができ、また様々な機関の方々の考えを聞くことができとても、すばらしい時間になりました。

- ・学校や教育委員会の現場の先生へ、今日の内容がとどく仕組みがほしいと思います。

- ・子供を信じて見守る事ばかりを考えていました。フリースクールやいろいろな所へ相談したり連れていったりしたのですが、今は家にずっといます。社会にふれる機会を増やしたいと思いました。

- ・子どもまん中の支援を一生懸命考えてくださっている方たちの存在を知り、とても心強く感じた。私もその一員になれるようがんばろうと思った。